

(臨床研究に関する公開情報)

岡崎市民病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] SSF と SSF2 による冠動脈モーションアーチファクトの比較

[研究責任者] 藤嶋 孝太

[研究の背景]

CT 冠動脈撮影(CT coronary angiography 以下 CTCA) の診断能において、動きによる画像の不鮮明化(以下モーションアーチファクト)は大きな影響因子の一つである。SnapShot Freeze(以下 SSF)は得られた CTCA から血管の動きやブレなどを認識し、流体力学を用いたベクトル演算処理にてモーションアーチファクトの影響を抑え、自動で冠動脈の静止画を構築する動態アルゴリズムである。当院では 2021 年 9 月に新たに CT 装置(Revolusion GSI)が導入された。この Revolusion GSI には SSF の後継である SnapShot Freeze2(以下 SSF2)が搭載されている。SSF2 は冠動脈のみ対象であった SSF とは異なり、心臓全体を対象とした高度なベクトル演算を可能としている

[研究の目的]

冠動脈のモーションアーチファクトを抑える動態解析アルゴリズム SSF と SSF の後継である SSF 2 のモーションアーチファクトを視覚評価し、SSF 2 の有用性を検討する。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

冠動脈疾患の患者さんで、西暦 2022 年 2 月 17 日から西暦 2022 年 7 月 1 日の間 Revolusion GSI 装置で CT 検査を受けた方

●研究期間：西暦 2022 年 9 月 22 日から西暦 2022 年 11 月 6 日

●利用する検体、カルテ情報

検体：画像データ（通常の診療で使用した検査結果を使用し、研究のためだけの検査は行いません。）

カルテ情報：画像検査

●検体や情報の管理

検体や情報は、当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

岡崎市民病院

444-8553 愛知県岡崎市高隆寺町字五所合3番地1

医療技術局 放射線室 藤嶋 孝太

電話 0564-21-8111 FAX 0564-25-2913